

## 手塚 健太 氏 学位審査結果の要旨

主査： 藺田 精昭

副査： 木梨 達雄、野村 昌作

成人T細胞性白血病(ATL)は、HTLV-1ウイルス感染が原因で発症する予後不良の白血病である。本研究では、ヒト臍帯血由来CD133陽性細胞をNOGマウス骨髄内に直接移植することで、効率的にヒトの造血・免疫系を再構築したヒト化マウスを作製している。その後、HTLV-1感染細胞を腹腔内投与することで、マウス固体内で脾腫を伴う異常T細胞の増殖などATL類似病態を再現することに成功している。特に、CD25陽性T細胞のオリゴクローナルな増殖が見られ、HTLV-1特異的な抗体やCTLが誘導されており、感染細胞の制御やクローン選択に寄与している可能性が示唆された。本研究で開発された新規ATLモデルマウスは、ATLの発症過程の解析や治療薬のスクリーニングなどに極めて有用と考えられる。以上より、十分に学位に値する研究と判断された。